

- 問1 1587年に豊臣秀吉が出した「バテレン追放令」と、当時の対外政策の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 大分県公立入試 類似)
- キリスト教の布教を全面的に禁止し、同時にヨーロッパ諸国との貿易も一切停止させた。
 - 宣教師の国外追放を命じたが、ポルトガルやスペインとの南蛮貿易は利益を重視して継続させた。
 - オランダを除くすべての外国船の来航を禁止し、貿易の窓口を長崎の出島に限定した。
 - キリスト教の信仰を武士にのみ認める一方で、農民には仏教を強制し貿易を奨励した。
- 問2 1587年、豊臣秀吉は宣教師の国外追放を命じる「バテレン追放令」を出しましたが、その後もしばらくの間、キリスト教の禁止は徹底されませんでした。その理由として最も適切な説明を選んでください。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)
- 宣教師が日本国内の寺社を修復し、仏教を保護することを約束したため
 - ヨーロッパ諸国との間に、キリスト教の布教を認める正式な外交条約を結んでいたため
 - ポルトガルなどの南蛮貿易による利益を重視し、貿易船の来航は認めていたため
 - 当時の有力な大名たちの多くがキリスト教を信仰しており、秀吉が彼らの反乱を恐れたため
- 問3 安土桃山時代の文化において、千利休が果たした役割やその時代の特徴として最も適切な記述はどれか。 (2016年 北海道公立入試 類似)
- 足利義政の保護のもと、禅宗の精神を取り入れた簡素な「東山文化」を生み出した。
 - 豊臣秀吉に仕え、豪華絢爛な気風の中で対照的に簡素な「わび茶」を大成させた。
 - 織田信長の命により、西洋の技術を取り入れた壮大な城郭建築を指導した。
 - 雪舟のように明へ渡り、大陸の技法を取り入れた新しい絵画様式を確立した。
- 問4 豊臣秀吉は、全国の土地の広さや収穫量を調査する太閤検地や、農民から武器を没収する刀狩を行いました。これらの政策が当時の社会に与えた影響として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 京都府公立入試 類似)
- 農民が武器を持つことを奨励し、武士と共に一揆を起こすことで幕府の権威を否定した。
 - 町人が政治の中心を担うようになり、菱川師宣らの活躍によって町人文化が全国に広まった。
 - 土地の所有権が曖昧になり、各地で有力な農民による領土争いが激化した。
 - 武士と百姓の身分の区別が明確になり、農民が耕作に専念する社会構造がつけられた。
- 問5 大航海時代において、ローマ教皇から新領土の占有を認められる条件として、キリスト教の布教を義務付けられ、日本への鉄砲伝来やキリスト教伝来にも深く関わった2つの国家の組み合わせとして適切なものを選んでください。 (2024年 大分県公立入試 類似)
- イギリスとオランダ
 - イタリアとドイツ
 - フランスとロシア
 - ポルトガルとスペイン
- 問6 16世紀にヨーロッパで起こった宗教改革について、その背景や目的を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2020年 神奈川県公立入試 類似)
- 科学技術の向上と機械の導入により、手作業に頼っていた生産活動を工業化しようとした。
 - イスラム勢力の拡大に対抗し、聖地エルサレムを軍事的に奪還することを目指した。
 - 古代ギリシャ・ローマの文化を復興させ、人間中心の自由な文化や芸術を追求した。
 - それまでの教会の権威や形式的な儀礼を批判し、聖書に基づいた信仰のあり方を目指した。
- 問7 安土桃山時代、千利休が造ったとされる「待庵(たいあん)」は、当時の茶の湯の精神を象徴する建築物として知られています。この建築物の特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2024年 岐阜県公立入試 類似)
- 金箔をふんだんに使用し、時の権力者の富と権威を誇示する造りとなっている。
 - 武家の住居様式である書院造の形式を忠実に守り、広大な床の間を備えている。
 - 中国から伝来した高価な茶器を並べて鑑賞するために、明るい照明と広い空間を確保している。
 - 畳の広さをわずかに二畳にするなど、極限まで無駄を削ぎ落とした空間となっている。
- 問8 16世紀から17世紀にかけて、島根県の見銀山で産出された銀は、大航海時代の世界経済において極めて重要な役割を果たしました。当時、この銀がマニラやマカオなどを經由して中国(明・清)へ大量に運ばれた理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)
- 中国産の生糸や陶磁器などを購入するための国際的な決済手段として用いられたため
 - 中国国内でキリスト教を布教するための、宣教師による活動資金として送られたため
 - 中国から日本へ輸出される、綿織物や茶の代金として銀での支払いが義務付けられていたため
 - 当時の中国で不足していた、武器や大砲を製造するための主原料として必要とされたため
- 問9 16世紀の南蛮貿易の進展に伴い、キリスト教の宣教師らによって日本にもたらされた「西洋の技術」と、それに関連する具体的な文化的事例について説明した文として正しいものを次の中から選んでください。 (2021年 長野県公立入試 類似)
- 木版印刷の技術が確立されたことで、浮世絵が庶民の間で流行し、東海道五十三次などの作品が広く普及した。
 - 製糸技術の近代化を目指し、フランスの技術を導入して群馬県に富岡製糸場が建設され、生糸の輸出が盛んになった。
 - 測量技術の向上により、伊能忠敬が日本全国を実際に歩いて測量し、精密な日本地図である「大日本沿海輿地全図」を完成させた。
 - 活版印刷の技術が伝えられ、ローマ字を用いて『平家物語』などの日本の古典文学を印刷した「キリシタン版」が制作された。
- 問10 豊臣秀吉が全国的に実施した土地調査(太閤検地)において、それぞれの土地から予想される米の収穫量を表すために用いられた、米の容積を単位とする基準を何といいますか。 (2022年 山形県公立入試 類似)
- 石高
 - 貫高
 - 地価
 - 反別
- 問11 安土桃山時代に栄えた桃山文化について述べた文として、誤っているものを次のうちから1つ選びなさい。 (2023年 青森県公立入試 類似)
- 織田信長や豊臣秀吉に仕えた千利休によって、茶の湯が大成された。
 - 城郭内部のふすまや屏風に、狩野永徳らが豪華で壮大な絵画を描いた。
 - 大阪や京都の町人を中心に栄え、井原西鶴が浮世草子と呼ばれる小説を書いた。
 - 京都で出雲の阿国がかぶき踊りを始め、多くの人々の人気を集めた。
- 問12 16世紀後半の時期における文化について、姫路城に代表されるような壮大な天守を持つ城郭が築かれ、その内部が金箔を用いた障壁画などで飾られた主な背景として適切なものはどれか。 (2018年 福岡県公立入試 類似)
- 南蛮貿易によってもたらされたキリスト教の精神を、建築を通じて普及させるため
 - 戦国大名が自らの富と強大な権力を誇示し、威風を周囲に知らしめるため
 - 公家文化の影響を強く受け、平安時代の貴族のような優雅な生活を再現するため
 - 仏教の教えに基づき、現世の欲望を抑えた質素で落ち着いた空間を作るため
- 問13 16世紀の日本において、ポルトガル人との貿易を通じて鉄砲が伝来するなど、ヨーロッパとの交流が盛んになった時期の出来事として、正しいものはどれですか。 (2019年 高知県公立入試 類似)
- カトリック教会の弾圧を逃れたプロテスタントの宣教師たちが、平戸を拠点に布教を開始した。
 - イエズス会の宣教師であるフランシスコ・ザビエルが鹿児島に上陸し、キリスト教を伝えた。
 - イエズス会が幕府の許可を得て、日本独自のキリスト教教義を確立した。
 - 宗教改革を開始したマルティン・ルターが日本を訪れ、仏教勢力と対話を行った。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 宣教師の国外追放を命じたが、ポルトガルやスペインとの南蛮貿易は利益を重視して継続させた。	豊臣秀吉は、キリスト教が自身の統治の妨げになると判断して宣教師の追放を命じましたが、南蛮貿易による経済的利益や物資の調達は重視していたため、貿易そのものは禁止せずに継続させました。江戸時代初期の徳川家光による「鎖国」の完成（貿易の停止や制限）と混同しないように注意が必要です。
問2	答え 3 ポルトガルなどとの南蛮貿易による利益を重視し、貿易船の来航は認めていたため	豊臣秀吉は、九州平定の際にキリスト教の広まりや宣教師が寺社を破壊している状況を目の当たりにし、バテレン追放令を出しました。しかし、同時に南蛮貿易による経済的利益や軍需品の入手を重視していたため、貿易船の来航は禁止しませんでした。貿易と布教を明確に切り離すことが困難であったため、結果としてキリスト教の禁止は不徹底なものにとどまりました。
問3	答え 2 豊臣秀吉に仕え、豪華絢爛な気風の中で対照的に簡素な「わび茶」を大成させた。	桃山文化は、権力者の富を背景とした豪華で壮大な側面（城郭や金碧障壁画など）と、千利休による「わび茶」のような内面的な精神性を重視する簡素な側面が共存していました。足利義政や雪舟に関する記述は室町時代の文化の特徴であり、安土桃山時代のものではありません。
問4	答え 4 武士と百姓の身分の区別が明確になり、農民が耕作に専念する社会構造がつけられた。	豊臣秀吉は、太閤検地によって耕作者と収穫量を確定させて年貢を確実に徴収できるようにし、同時に刀狩によって農民から武器を奪って一揆を防ぎました。これら一連の政策は「兵農分離」と呼ばれ、戦乱の時代を終わらせ、武士と百姓という身分の違いを固定化する重要な役割を果たしました。
問5	答え 4 ポルトガルとスペイン	15世紀後半から16世紀にかけて、未知の航路を開拓して世界進出を先導したのは、イベリア半島に位置するポルトガルとスペインでした。両国は教皇の認可のもと、到達した土地を自国の領土とする代わりに、その地の先住民などにキリスト教を広める役割を担いました。日本に初めて到達したヨーロッパ人も、この両国の関係者であり、ザビエルの来日など宗教的な活動が外交や貿易と密接に結びついていました。
問6	答え 4 それまでの教会の権威や形式的な儀礼を批判し、聖書に基づいた信仰のあり方を目指した。	ルターは「九十五ヶ条の論題」を発表して教会の不正を批判し、信仰の根拠は教会ではなく聖書にあると主張しました。この考え方は、当時普及し始めた活版印刷術によって急速に広まり、従来の教会のあり方を根本から揺るがすことになりました。
問7	答え 4 畳の広さをわずかに二畳にするなど、極限まで無駄を削ぎ落とした空間となっている。	妙喜庵にある待庵は、千利休の思想が反映された現存する唯一の茶室遺構とされています。わずかに二畳という極めて狭い空間に、土壁やにじり口（小さな出入り口）を設けることで、茶室の中では身分の差を忘れ、主客が対等に向き合う精神的な深まりを追求しました。
問8	答え 1 中国産の生糸や陶磁器などを購入するための国際的な決済手段として用いられたため	大航海時代、中国の生糸や陶磁器は世界的に高い需要がありました。当時の中国（明・清）では、税制の変更（一条鞭法など）により銀の需要が急増しており、銀は国際的な貿易における主要な決済手段となっていました。日本は当時、世界有数の銀産出国であり、石見銀山から産出された銀は東アジアの貿易網を通じて中国へ流れ込み、世界経済を循環させる原動力となりました。
問9	答え 4 活版印刷の技術が伝えられ、ローマ字を用いて『平家物語』などの日本の古典文学を印刷した「キリシタン版」が制作された。	イエズス会の宣教師らは布教活動の一環として、西洋の活版印刷機を日本に持ち込みました。これを利用して、キリスト教の教義書だけでなく、日本語を学ぶ宣教師のために『平家物語』や『伊曽保（イソップ）物語』といった日本の文学作品がローマ字で印刷・出版されました。これらは「キリシタン版」や「天草版」と呼ばれます。浮世絵や伊能忠敬の地図は江戸時代、富岡製糸場は明治時代の出来事です。
問10	答え 1 石高	豊臣秀吉は全国の土地の広さや等級を統一した基準で調査する太閤検地を行いました。それまでは地域ごとに基準が異なっていましたが、予想される収穫量を「石」という単位で表すこの仕組みに統一されたことで、全国の生産力が明確になり、それを基に年貢の徴収や軍役の割り当てが行われるようになりました。
問11	答え 3 大阪や京都の町人を中心に栄え、井原西鶴が浮世草子と呼ばれる小説を書いた。	井原西鶴が浮世草子を書き、上方（大阪や京都）の町人を中心に栄えたのは、江戸時代前期の「元禄文化」です。桃山文化は、戦国大名や豪商の気風を反映した豪華で壮大な文化であり、狩野永徳、千利休、出雲の阿国などが代表的な人物です。
問12	答え 2 戦国大名が自らの富と強大な権力を誇示し、威風を周囲に知らしめるため	安土・桃山時代の文化は、天下統一を推し進める新興の政治勢力である戦国大名の好みを強く反映している。城郭は単なる軍事拠点にとどまらず、自らの支配力の正当性と圧倒的な力を視覚的に示すための象徴としての役割を担った。そのため、装飾はより豪華で壮大なものへと発展した。
問13	答え 2 イエズス会の宣教師であるフランシスコ・ザビエルが鹿児島に上陸し、キリスト教を伝えた。	1549年、イエズス会の創設メンバーの一人であるフランシスコ・ザビエルが鹿児島に来航しました。当時の日本は戦国時代で、ポルトガル人との貿易によってもたらされる鉄砲やその他の物産とともに、新しい宗教であるキリスト教が広まりました。これはヨーロッパにおける宗教改革に対抗し、世界各地にカトリックを広めようとしたイエズス会の戦略の一環でした。